

2023年11月20日

格付投資情報センター（R&I）は以下の格付を公表しました。

日本学生支援機構（証券コード：－）

【維持】

発行体格付：AA+ [安定的]

債券格付：AA+

【格付理由】

日本学生支援機構は奨学金の貸与・給付などを通じて学生支援を先導する中核機関。経済面で修学環境を整備し、人材育成に貢献するほか留学生支援事業、学生生活支援事業も手掛ける。民間による代替が困難な奨学金の貸与・給付などを通じて学生をサポートする教育政策上の重要性は極めて高く、格付は日本ソブリン同格としている。

2020年度にスタートした高等教育の修学支援新制度により、機構は返済義務のない給付型奨学金事業の規模を大幅に拡充している。岸田政権は人への投資、教育重視の姿勢を明らかにして、高等教育費のさらなる負担軽減を掲げている。2024年度から給付型奨学金と授業料減免について、保護者世帯の年収条件などを緩和して利用促進につなげる。加えて、大学院生対象に「出世払い」型の奨学金制度を2024年秋学期から導入することを決定済みで、対象者の年収要件、卒業後の納付額、損失発生時の負担方法などの制度設計を検討している。この新たな奨学金制度も機構が一手に引き受けるとみられる。

利用者の増加もあって奨学金残高は長く右肩上がりだったが、2020年度以降は微減に転じている。18歳人口の減少や、給付型奨学金が増える一方で、貸与型奨学金の伸びが鈍っていることが背景にある。2024年度に始まる施策でこの傾向は続く見通し。一方で奨学金の回収状況に大きな変化はない。貸与奨学金は貸し倒れや金利変動のリスクを抱えるものの、必要に応じて政府が資金を財源措置することになっており、収支・財務に響く懸念はない。「出世払い」型奨学金の貸し倒れリスクに関する政府の支援スキームなどの制度内容を確認していく。

【格付対象】

発行者：日本学生支援機構

【維持】

名称	格付	格付の方向性		
発行体格付	AA+	安定的		
名称	発行額	発行日	償還日	格付
第65回日本学生支援債券	300億円	2021年11月9日	2023年11月20日	AA+
第66回日本学生支援債券	300億円	2022年2月8日	2024年2月20日	AA+
第67回日本学生支援債券	300億円	2022年6月8日	2024年6月20日	AA+
第68回日本学生支援債券	300億円	2022年9月7日	2024年9月20日	AA+
第69回日本学生支援債券	300億円	2022年11月9日	2024年11月20日	AA+
第70回日本学生支援債券	300億円	2023年2月8日	2025年2月20日	AA+
第71回日本学生支援債券	300億円	2023年6月7日	2025年6月20日	AA+
第72回日本学生支援債券	300億円	2023年9月7日	2025年9月19日	AA+
第73回日本学生支援債券	300億円	2023年11月8日	2025年11月20日	AA+

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先：経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

信用格付に関わる事項

格付関係者	日本学生支援機構
主任格付アナリスト	喜多 総治郎
信用格付を付与した日	2023年11月20日
主要な格付方法	政府系機関等の格付の考え方 [2022/12/26]
情報提供者	格付関係者

利用した主要な情報	決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等
品質確保のための措置	公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を判断した情報であること。
格付方法の概要	次のウェブサイト上に上記格付方法及び考慮した他の格付方法をともに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html
評価の前提	次のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html
格付符号と定義	次のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html

信用格付の前提、意義及び限界

R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。

R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。

利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。

一般に投資に当たって信用格付に過度に依存することが金融システムの混乱を引き起こす要因となり得ることが知られています。

信用格付の付与について代表して責任を有する者	丸山 博哉
信用格付業者登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官(格付)第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。